

災害の概要等

【発生日時等】

令和元年8月28日

【発生場所】

株式会社佐賀鉄工所 大町工場
佐賀県杵島郡大町町大字福母1624番地
※工場立地場所は浸水想定区域に該当

<佐賀鉄工所事業概要>

自動車部品であるボルトの製造・販売
国内に4つの製造工場を保有、資本金3.1億円、従業員数800人

【佐賀鉄工所大町工場内危険物施設一覧】

一般取扱所: 4施設

※うち、1施設が焼き入れ工程(8基)を有するもので、当該施設より油が流出

屋内貯蔵所: 1施設

屋外貯蔵所: 1施設

地下タンク貯蔵所: 2施設

【事故の概要】

河川氾濫に伴い、焼き入れ油を貯蔵しているピット内に水が流入し、焼き入れ油が流出したものの。

佐賀鉄工所
大町工場

六角川



工場周辺地図



危険物の流出状況

【危険物流出事故が発生した一般取扱所の概要】

当該施設は、焼き入れ工程を有する一般取扱所であり、焼き入れ装置が8基設置されている。

＜当該施設で取り扱われている危険物の種別＞

第4類第3石油類(焼き入れ油・潤滑油) (引火点70℃以上200℃未満)(113,530L)

第4石油類(金属加工油) (引火点200℃以上250℃未満)(3,360L)

※指定数量の倍数は57.33倍

【設置許可時の施設の概要】

設置許可日:昭和60年2月18日

設置許可時は、焼き入れ装置が4基のみであった。

※その後、焼き入れ装置の追加・更新、危険物の取扱量の変更、施設の増改築等が行われ、現在の施設形態となった。

＜取り扱われていた危険物の種別＞

第4類第3石油類(焼き入れ油)(30,000L)

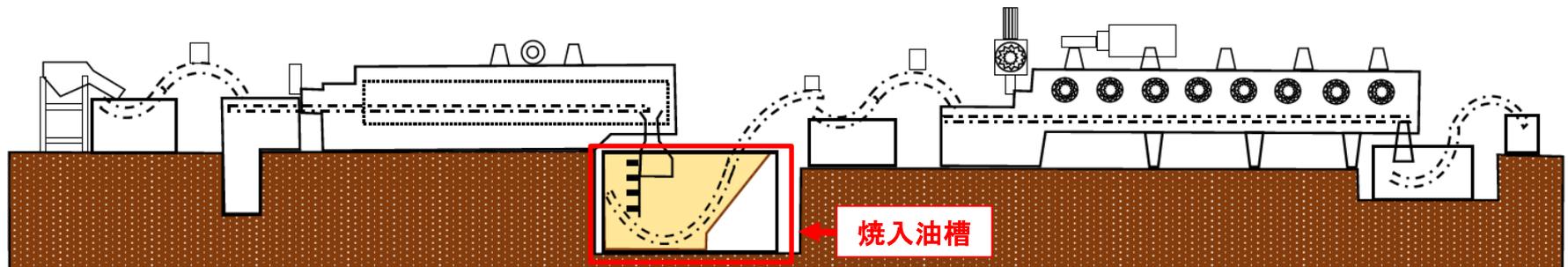
※指定数量の倍数は15倍

【焼き入れ装置について】

下図が当該施設に設置されている焼き入れ装置の概要である。金属製品はベルトコンベヤで、半地下ピット内の焼き入れ油内に運ばれる。ピット内には焼き入れ油が満たされた状態で管理されている。

＜焼き入れ作業とは＞

焼き入れ作業とは、熱した金属を急冷させて、強度を増すために行われる熱処理の工程である。



金属製品の流れ

危険物の流出した焼き入れ装置のイメージ